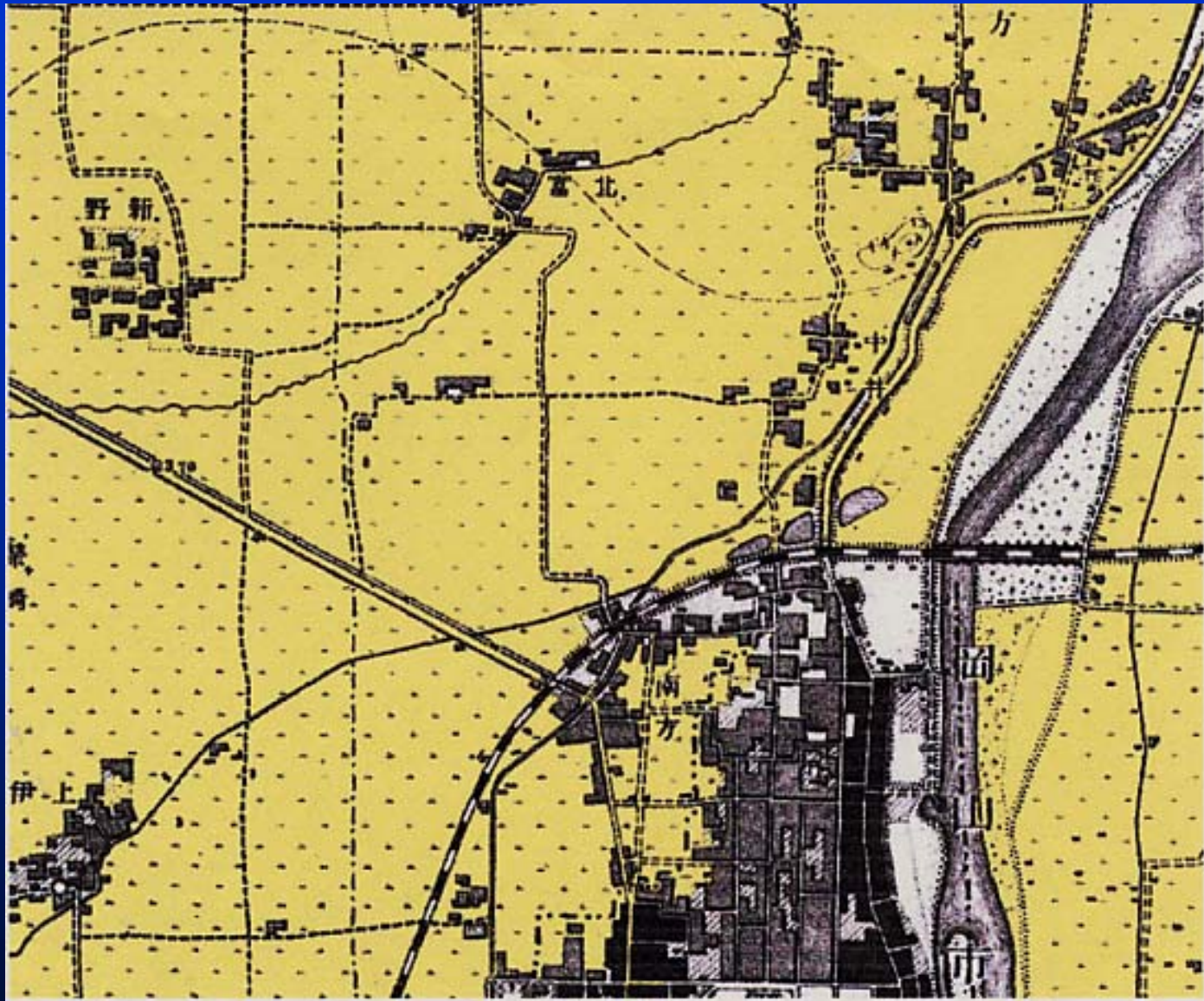


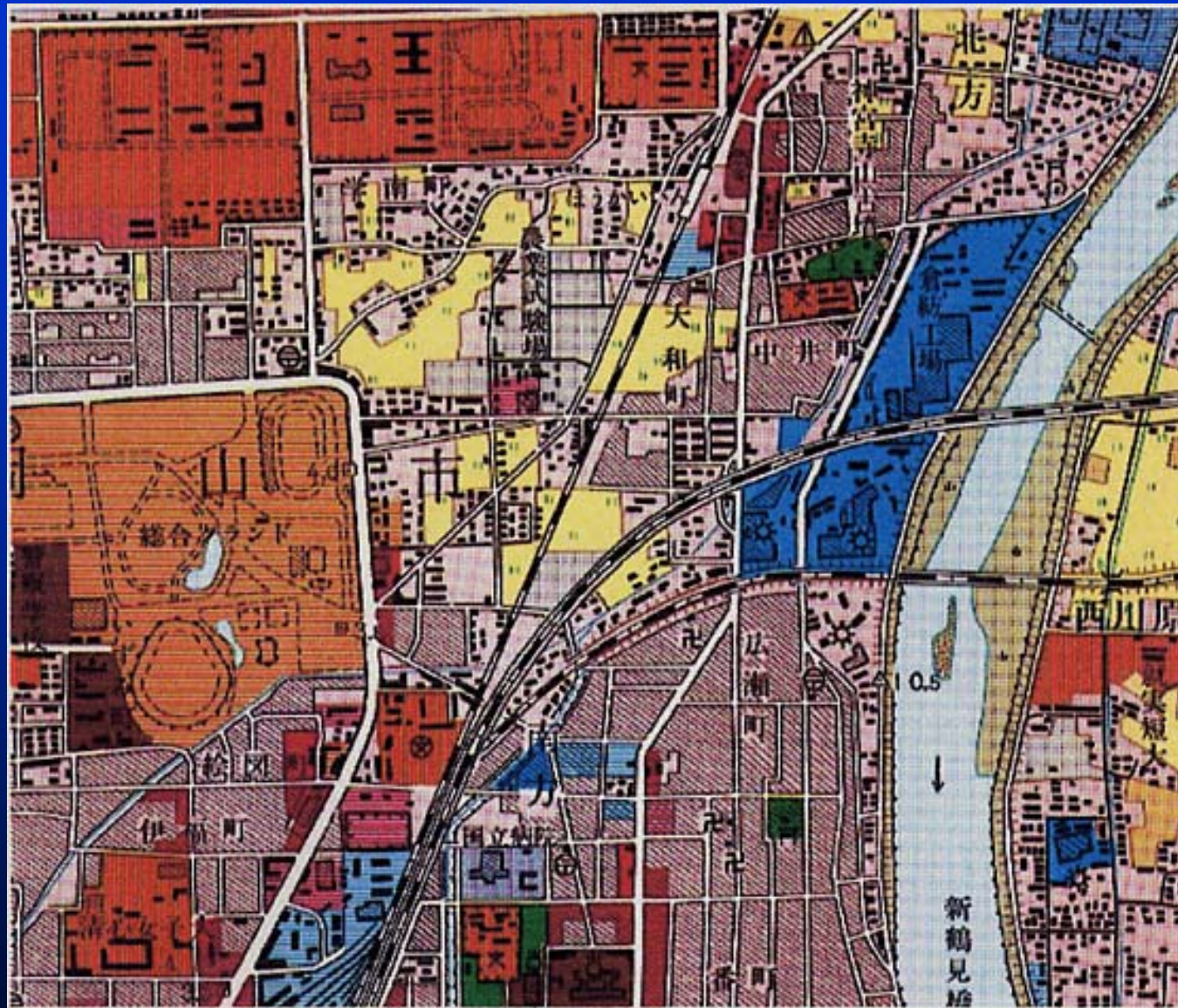
4) 圏域での環境バランスを 常識に

都市構造転換へ
空間リサイクルの発想を

かつての循環型(により近かった)社会……



Okayama city: about 100 years ago



Okayama City: Now

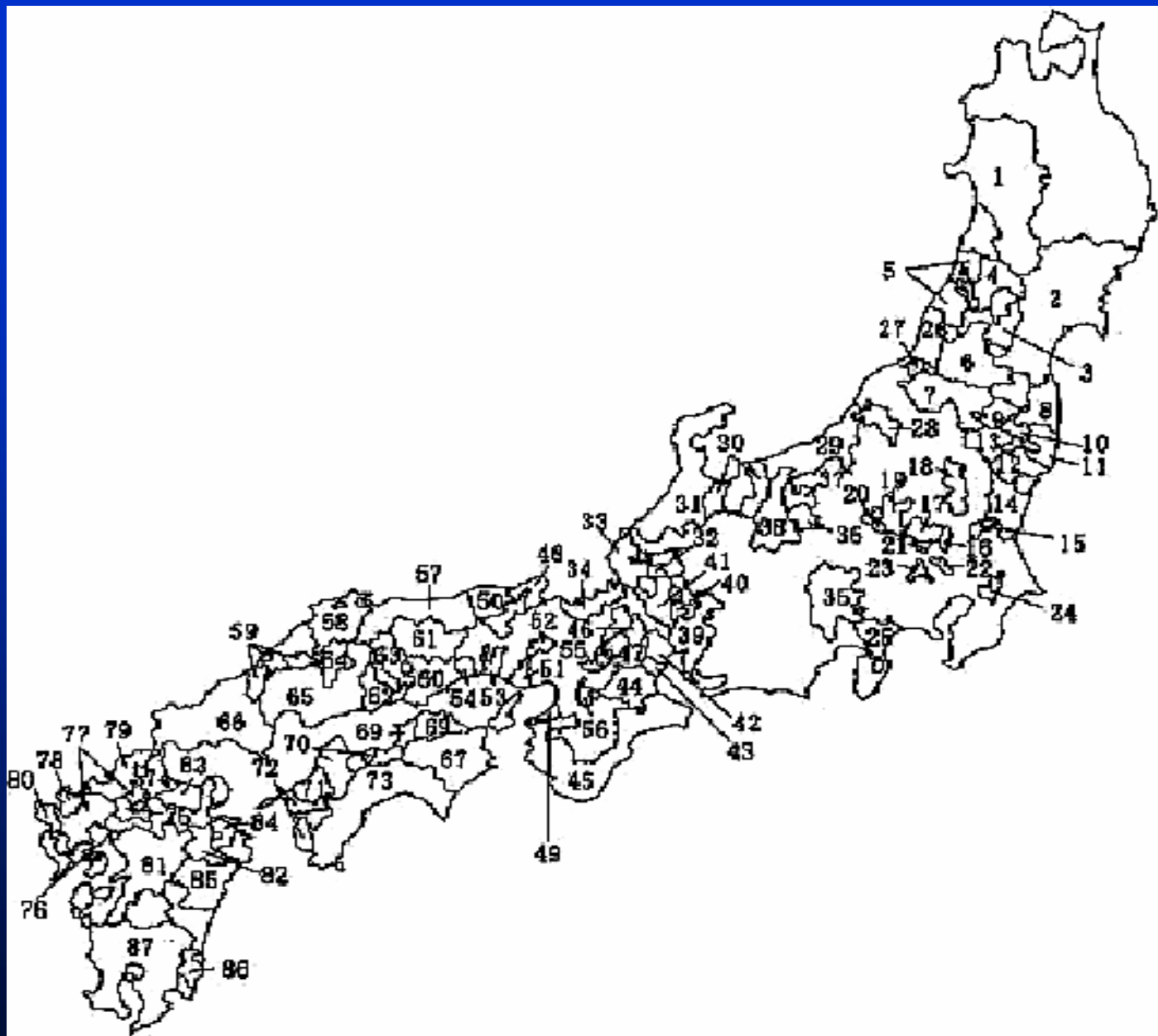


Figure 1. Territory of each *han* (1664)

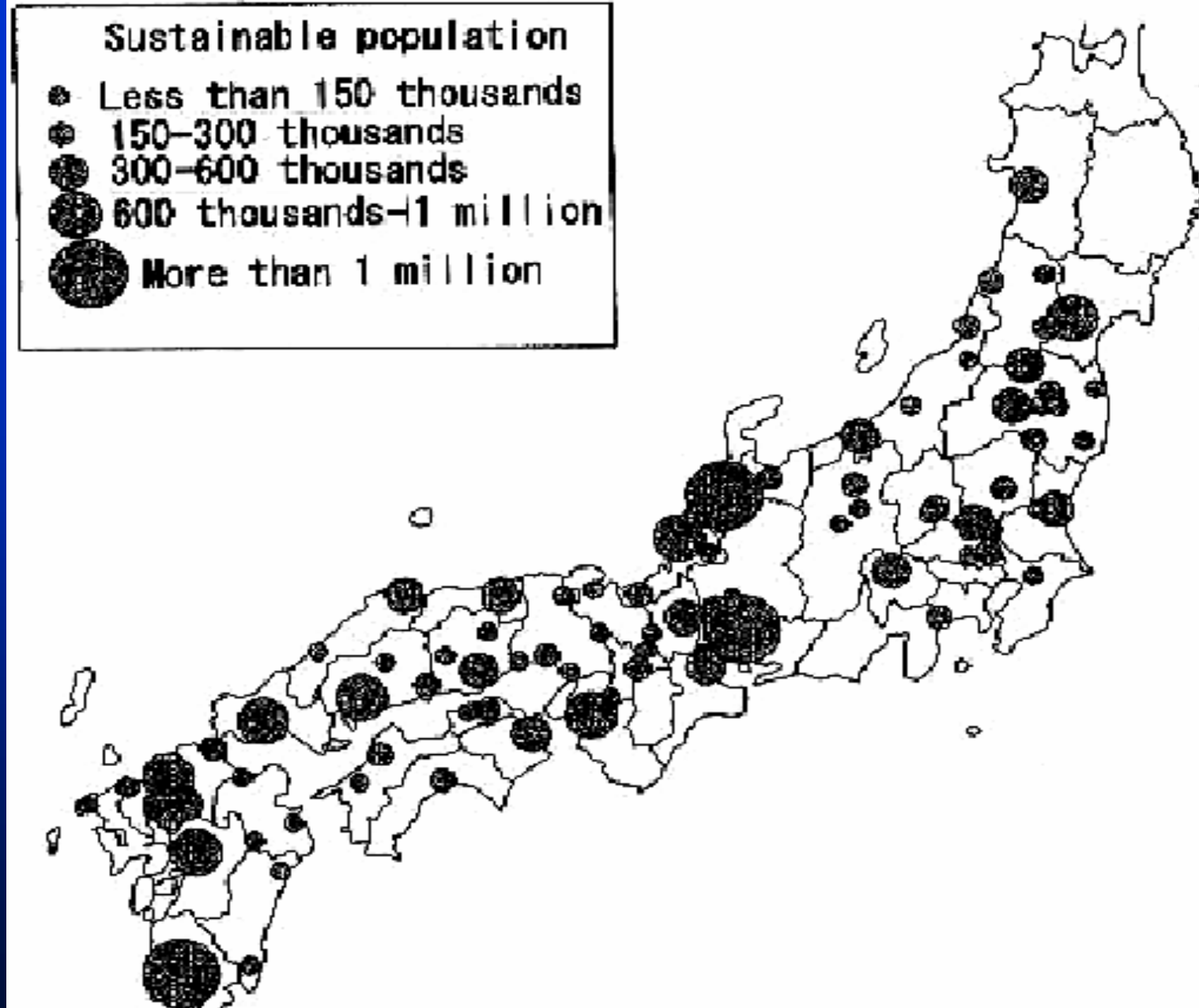


Figure 2. Sustainable population in each *han*

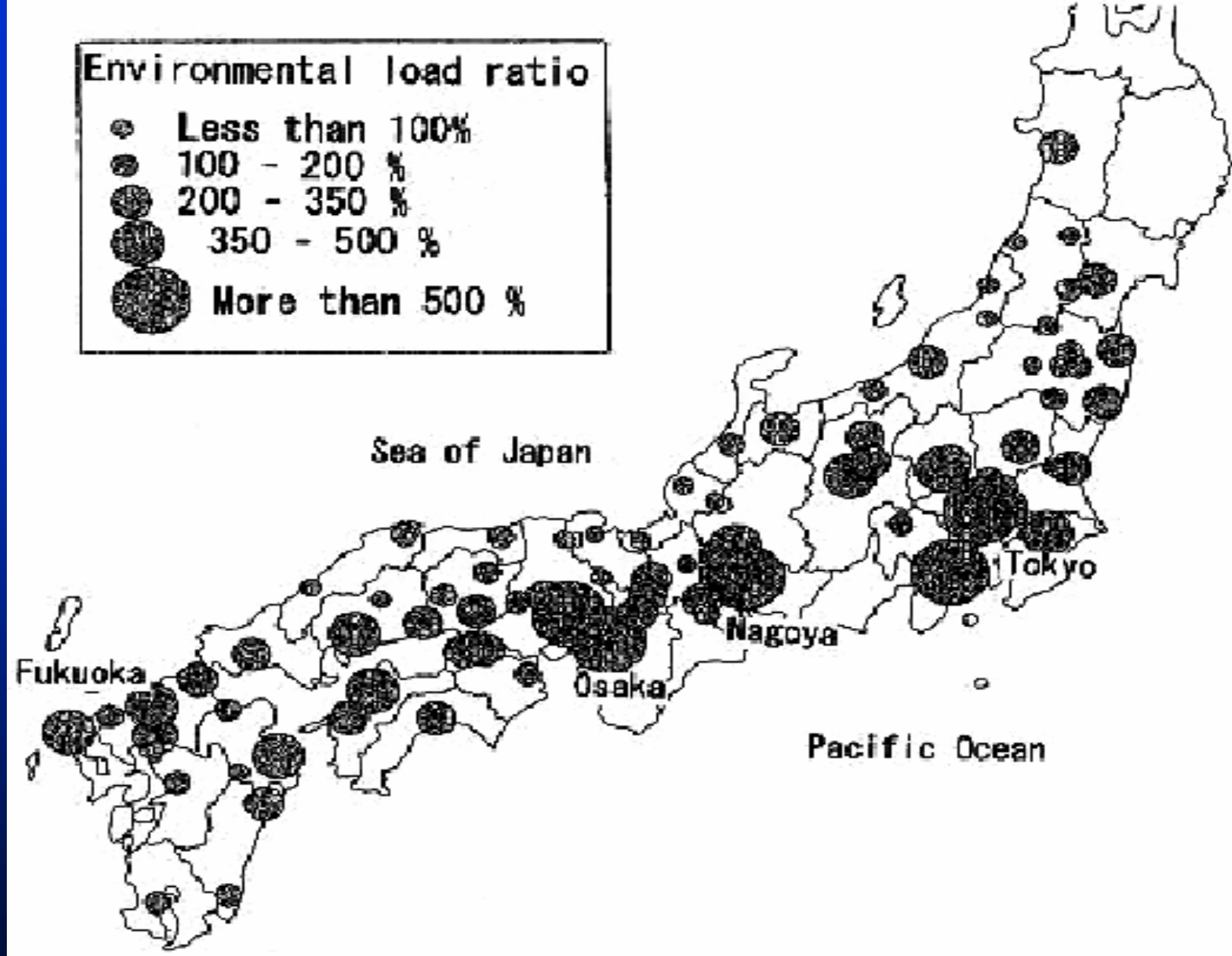


Figure 3. Pattern of environmental load ratio

エコロジカルフットプリントで環境バランスを評価

- ①耕地(食物、動物飼料等)
- ②牧場(肉、乳製品等)
- ③森林(材木、製紙材料等)
- ④都市的土地(住宅、工業、幹線交通用地)
- ⑤森林(二酸化炭素吸収)

我々が生活するために必要な食料やエネルギー等の面積



『需要面積』

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

環境
負荷量

各市町村で生産している土地面積

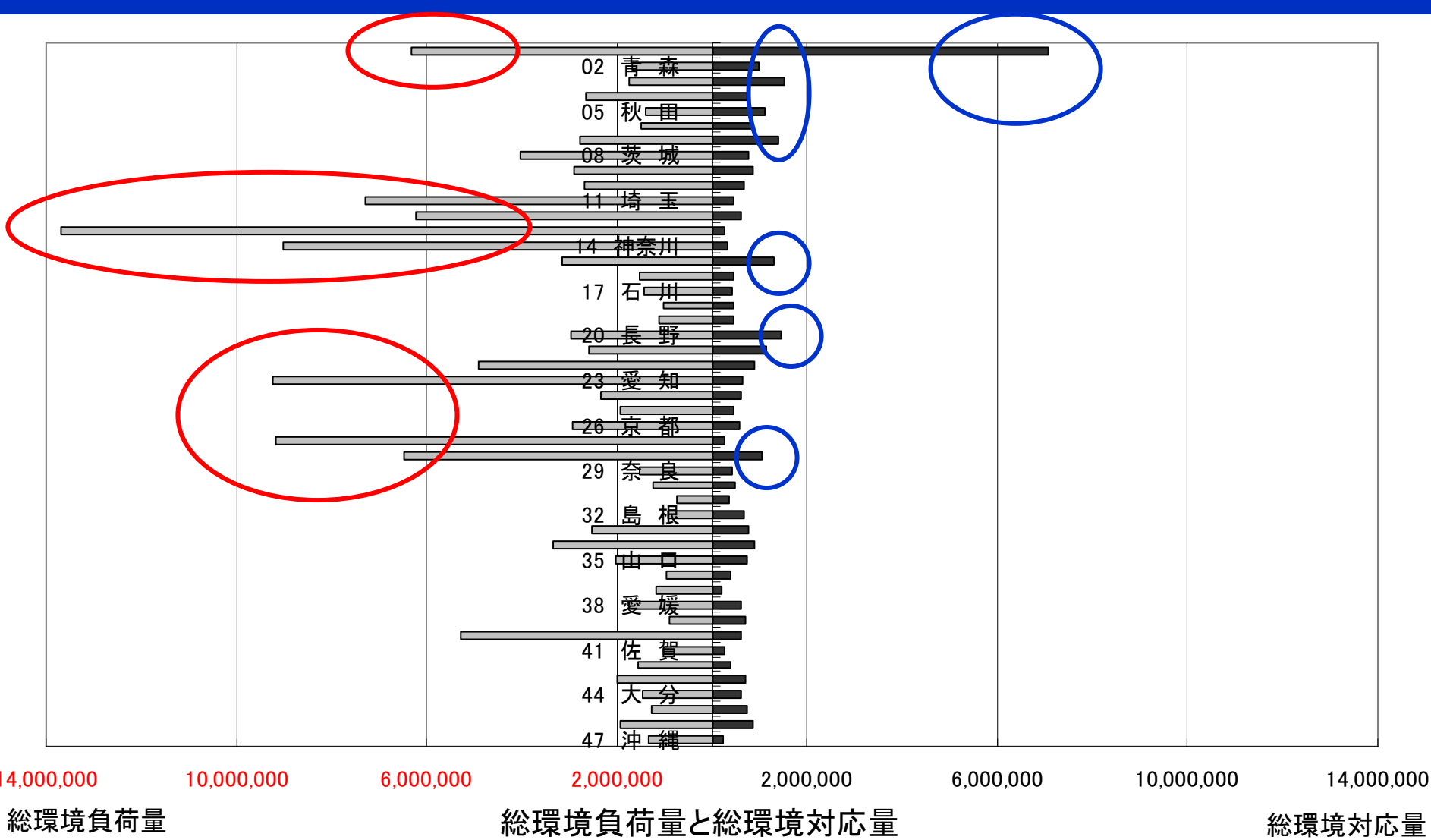


『供給面積』

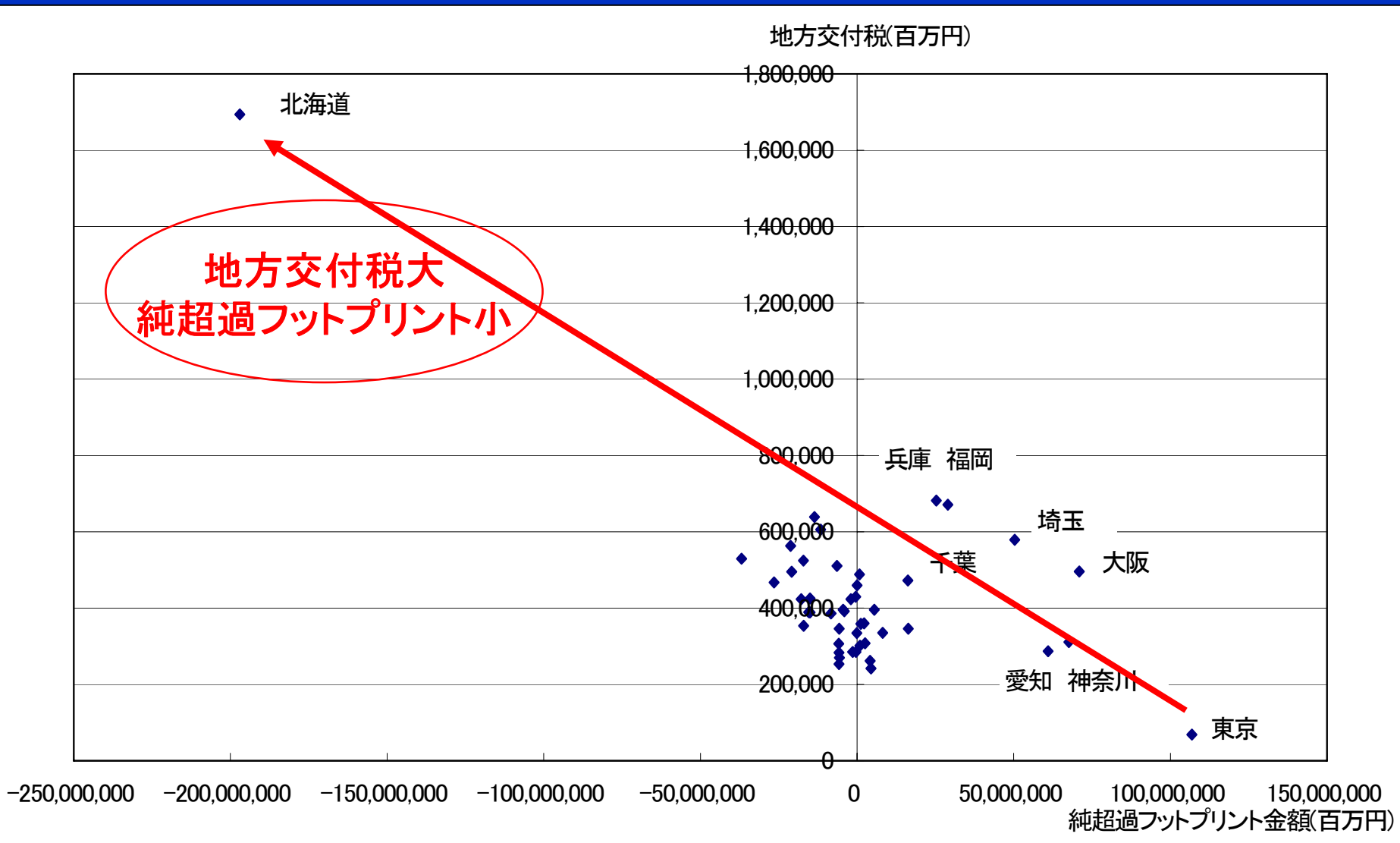
- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

環境
対応量

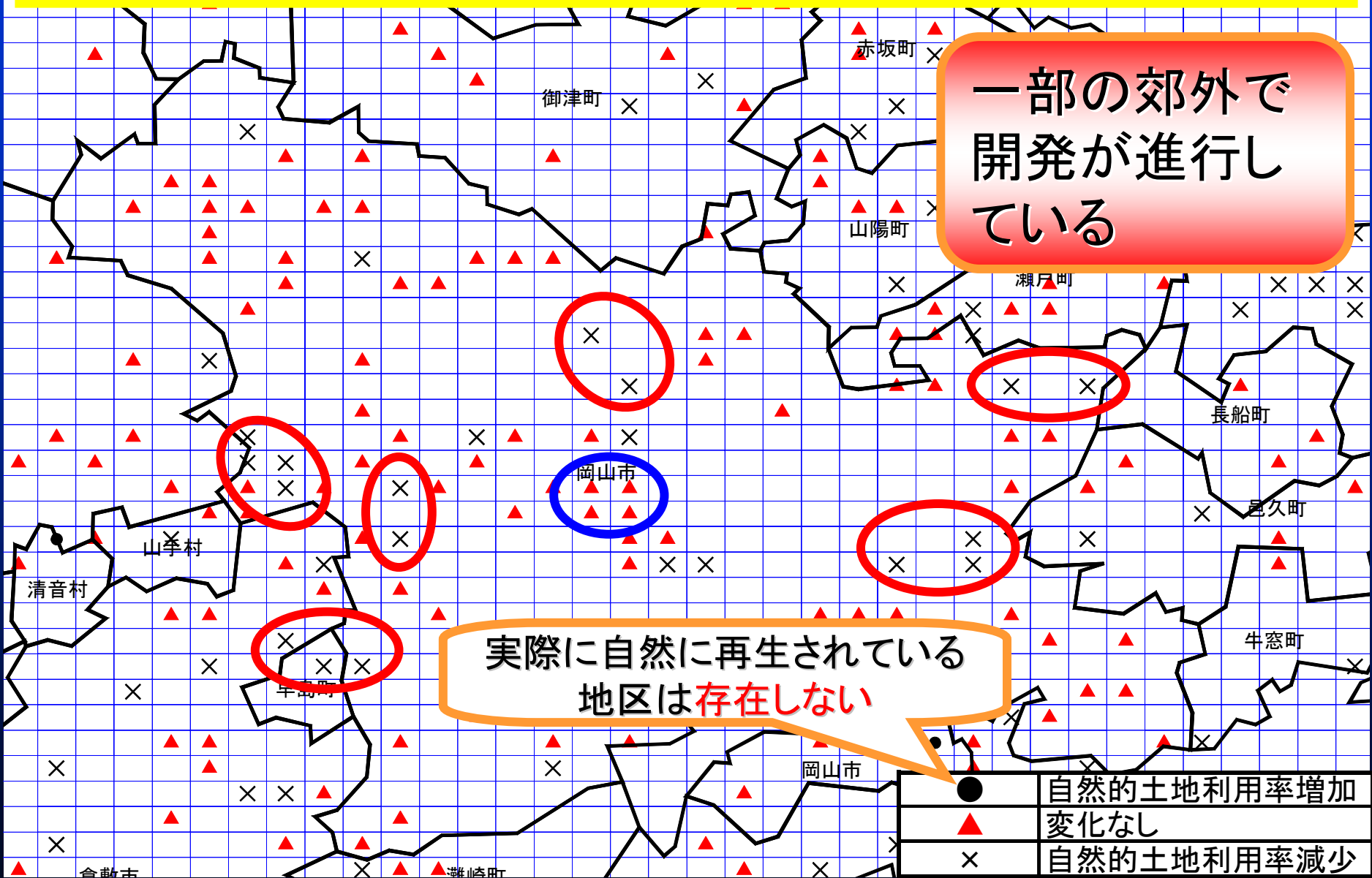
各都道府県の 総環境負荷量と総環境対応量の算出結果



純超過フットプリントと地方交付税



活動総人口減少メッシュの土地利用変化(S60-H7)



一部の郊外で
開発が進行し
ている

実際に自然に再生されている
地区は**存在しない**

●	自然的土地利用率増加
▲	変化なし
×	自然的土地利用率減少

空間リサイクルの一般化へ



分類1(建設中)



分類2(売り出し・貸し出し中)

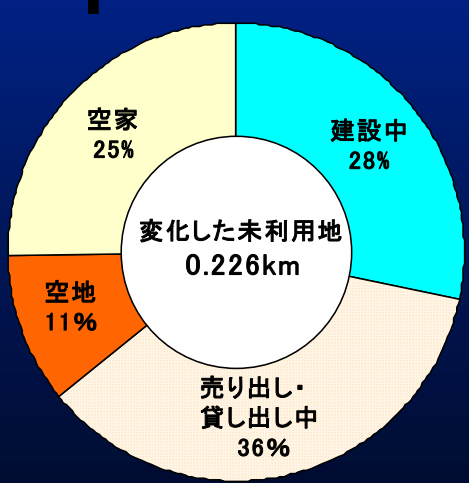
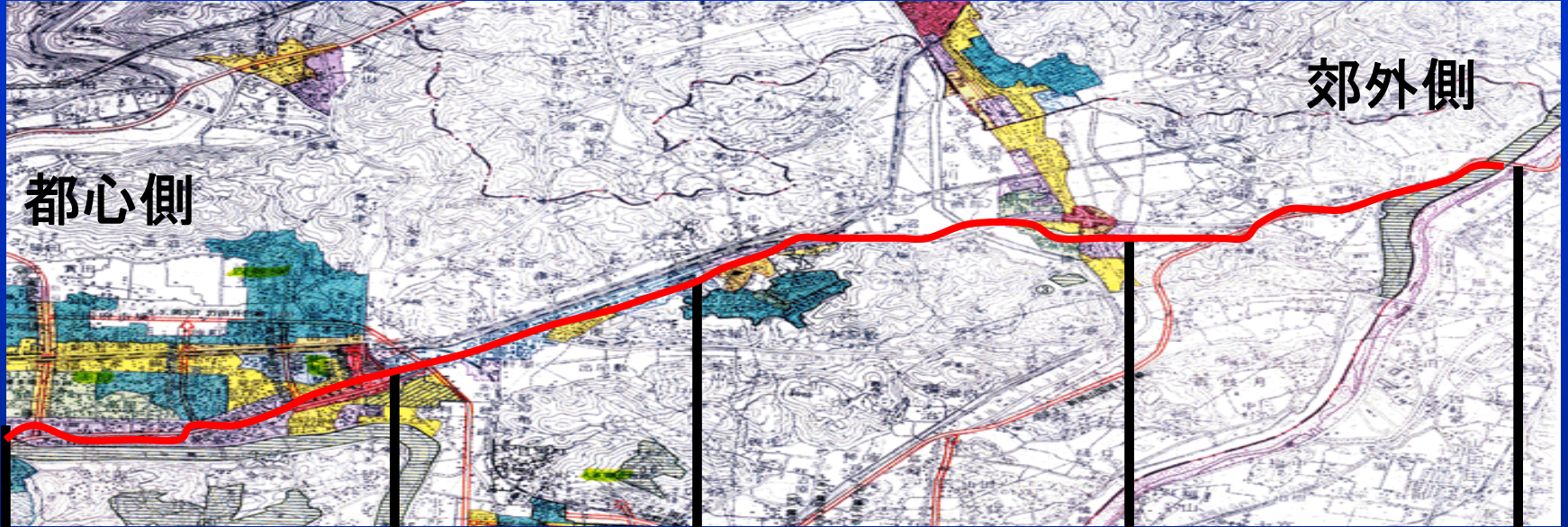


分類3(空家)

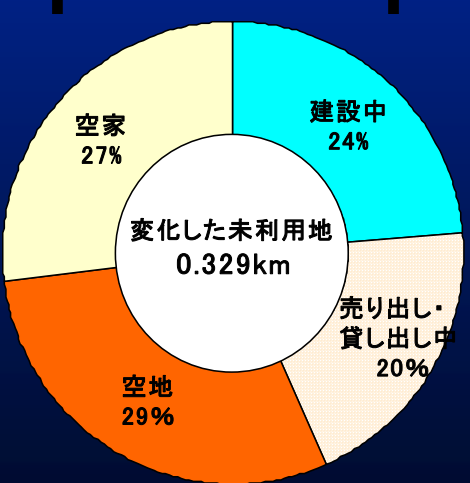


分類4(空地)

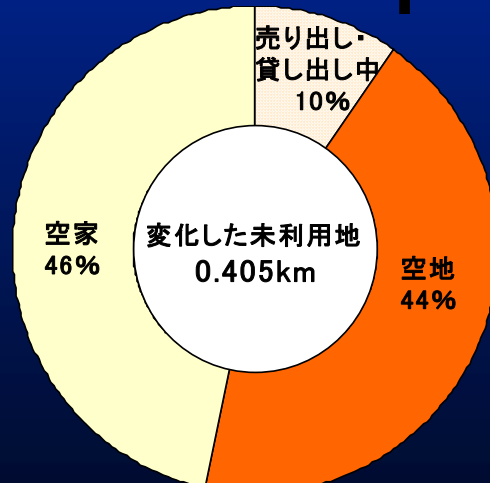
未利用地は怎么样了か：コンパクト化の素地はある



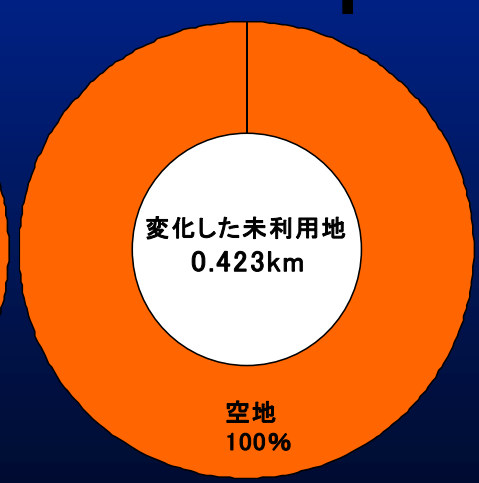
4.5~8km



8~11km



11~15km



15~18km